

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	4	2	選択
担当教員			
豊島 泰子、中村 晶子、兼田 啓子			
木1、2、3、4			
添付ファイル			

科目の概要	この授業では、学生は、公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所・市町保健センター）で実習する地域の状況を把握、分析し、顕在的・潜在的健康課題を抽出し、実習中の保健活動計画を立案する。また、実習地域の保健所および市町保健センターで実施される保健事業を理解し、保健師の行う公衆衛生看護活動を通して、行政機関で就業する保健師の役割について考察する。
授業の内容	<p>1～2回           オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の説明等） ・地域診断と地域保健計画づくり   ・対象のとらえ方と保健計画策定</p> <p>3～8回           地域診断 ・臨地実習施設の地域診断（既存のデータからの情報収集） ・臨地実習施設の地域診断（分析）（健康問題の抽出）</p> <p>9～12回          地区視診 ・臨地実習施設の地区視診、まとめ</p> <p>13～14回         公衆衛生看護活動 ・母子保健活動（1.6歳児健診・3歳児健診等） ・成人保健活動</p> <p>15～16回         公衆衛生看護活動 ・高齢者保健活動 ・障害者保健活動：難病、障害児（者）の保健</p> <p>17～18回         感染症活動 ・結核、HIV</p> <p>19～22回         健康教育 ・企画案、指導案作成</p> <p>23～28回         計画づくり ・保健計画策定</p> <p>29～30回         地域診断の発表 ・臨地実習施設の健康課題と保健計画の発表</p>
学習到達目標	<p>①臨地実習Ⅱで実習する地域の地域診断が実施できる。 ②地域の顕在的・潜在的課題を抽出し、地域の特性について理解できる。 ③地域の保健活動計画を策定できる。 ④保健師の行う公衆衛生看護活動の知識・技術について理解できる。</p>
授業の方法	【授業形態】 ・演習
成績評価の方法	<p>【評価項目】 ・成果物70%、参加度10% レポート 20%</p> <p>レポートテーマ：「行政機関で働く保健師の役割についてあなたの考えを述べなさい。」 提出方法：最終日まで Aサイズ40×40 2枚程度</p>
教科書・テキスト	・特に指定しない
参考書	<p>・書豊島泰子編集：「看護師のための地域看護学」ピラールプレス社 ・上野昌江、和泉京子編集(2016) 公衆衛生看護学第2版 中央法規出版 ・標美奈子著(2020) 標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 ・荒賀直子、後閑容子著(2016) 公衆衛生看護学 j p 第5版 インターメディカル</p>
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	・演習時に提示します。
履修上の留意事項	・臨地実習の準備です。グループで計画的に進めていただけることを希望します。

オフィスアワー	・火曜日 12:30～14:20
課題に対する フィードバックの 方法	・演習時にその都度返却する。
実務経験	・いずれの教員も保健師
その他	